

愛NANYO (第9号)

見えないスタンプ

西洋にこんな民話があります。

ある貧乏な男が、近所の麦畑から麦を盗もうと考え、真夜中に末の娘と共に他人の畑にやってきた。そして、「誰か見ている人がいたら教えるんだ」と幼い娘に見張り番をさせて、自分は畑に入って麦を刈りはじめた。しばらくすると、娘が突然言います。「お父さん！誰かが見てる！」ギョッとして父親はあたりを見まわしますが、人っ子ひとりいません。麦刈りを再開する父親。ところがしばらくすると、また娘が言います。「お父さん！誰かが見てる！」父親は麦刈りを中断して、再びあたりを見まわしますが、やっぱり誰もいません。「いったい誰に見られているって言うんだ！誰もいないじゃないか！」父親が怒って言うと、娘はこう答えたのです。「お空の上から誰かが見てるの！」

「天網恢恢疎にして漏らさず」という中国のことわざをご存じでしょうか。これは、「天はどんなに小さな悪も見逃さず、天罰を与える」という意味です。「神様はお見通しだぞ」ってことです。中国には他にも、「これは二人だけの秘密だ・・・と言って不正を働いても、必ずバレる」という意味で「天知る、地知る、我知る、人知る」という言葉があります。

さて、神様が見ているのは、何も悪事だけではありません。あなたが「イイこと」をした時も、ちゃんと見てくれています。歌人の穂村弘さんの『本当はちがうんだ日記』という本の中で、「見えないスタンプ」という話を読んだことがあります。それは次のような話です。人が『イイこと』をすると、世界のどこかにある『見えないスタンプ帳』に「イイことスタンプ」が一つ押される。それが『ある数』まで貯まると、その人に『イイこと』が起こる。

また、雑誌『暮らしの手帖』前編集長の松浦弥太郎さんは、新聞のコラムでこんなことを書いていました。そのまま引用します。〈「いやなことばかり起きているあなたへ。いやなことがいっぱい貯まると幸運と交換することができますよ」スコットランドへの旅先で手にした、クッキーの菓子箱におまけで入っていたカードに書かれていた言葉である。時差ボケで早起きした朝、あたたかい紅茶を飲みながら、ぼんやりとした頭で読み、何故かそのまま捨てずに取っておいた。今でも机の引き出しに入っている〉出典○2011年7月6日読売新聞夕刊「松浦弥太郎の暮らし向き」

穂村さんの「見えないスタンプ」は、誰も見ていなくても「イイこと」をすれば「イイこと」が訪れる。松浦さんの話は、「悪いこと」が起こっても、そのぶん、「イイこと」が訪れる。どちらもすぐ前向きな考え方です。その考え方のよいところは、「イイこと」をする時にわざわざまわりにアピールする必要はないし、「悪いこと」が続いても、落ち込む必要もないということです。落ち込むどころが、「貯金」だと思えば、「悪いこと」が起きるたびに、「よーし、ラッキー！」って、ワクワクすることができますね。（『夜、眠る前に読むと心がほっとする50の物語』より）

（養護護教諭 岡威作美）

☆スクールライフアドバイザー 清家先生の来校予定日（第2教棟2階相談室）

2月・12日（水）・14日（金）・17日（月）・19日（水）・21日（金）

ささいな事でも構いません。気軽に相談室をのぞいてください。

担当連絡先	南宇和高等学校 養護教諭 人権・同和教育課（教育相談） TEL 0895-72-1241 FAX 0985-72-6510	おか いさみ 岡 威作美
-------	---	-----------------

予約をしたい場合は面談申込書を提出してください。もちろん予約なしで来てもらってもかまいません。

切り取り線

南宇和高校スクールライフアドバイザー面談申込書

申込日 令和2年 月 日

相談内容に○をつけてください。

勉学・進路・対人関係・心身の健康・生活・部活動・その他（ ）

希望日時 月 日 曜日 時間 時 分頃

年 組 番 氏名（ ）

保護者（ ）